

令和元年第31回公安委員会会議録

日時	11月28日(木曜日)	自午後1時30分 至午後5時00分	場所	公安委員会室
会議	公安委員	原委員長 小野委員 山本委員 高木委員 下山委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞6件、意見の聴取15件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 年末における警戒活動等の強化について

(1) 実施目的

県民の「安全・安心」な暮らしを確保するため、総合的な体制を確立し、警察官による「見せる街頭活動」等の警戒活動を強化するとともに、防犯ボランティア団体、自治体、企業等と連携・協働して、年末における各種犯罪防止を図るもの。

(2) 活動期間

ア 年末の警戒活動

令和元年12月1日(日)から同月31日(火)までの31日間

イ 特別警戒活動

令和元年12月21日(土)から同月31日(火)までの11日間

(3) 活動重点

ア 金融機関、コンビニ店等深夜営業店舗対象強盗事件の防止

イ 振り込め詐欺等の被害防止

ウ 子供・女性に対するわいせつ・声かけ事案の被害防止

エ 繁華街等における警察活動の推進

(4) 活動内容

ア 警察官による立寄り活動、防犯指導等の強化

イ 振り込め詐欺等被害防止のための水際対策の強化

ウ 子供・女性が被害に遭いやすい時間帯、場所等にあわせた警戒活動の強化

エ 繁華街における警察官の見せる警ら・駐留警戒等の実施 等

【委員からの質問等】

委員から「年末年始の出発式は、飲酒運転根絶の広報啓発強化と共に取り組んでいることをメディアに取り上げてもらうことで、警察の強い姿勢を県民にアピール

ールしてもらいたい」旨の発言があり、警察から「警察署では各部門一緒に取り組んでいく」旨の説明があった。

2 繁華街における客引き行為者の一斉検挙について

(1) 一斉検挙の目的

女子ハンドボール選手権大会の開催や忘年会シーズンを前に、更なる繁華街の環境浄化を図ることを目的に実施したものの。

(2) 逮捕被疑者等

ア	被疑者	A	23歳	熊本県迷惑行為等防止条例違反で逮捕
イ	被疑者	B	24歳	熊本県迷惑行為等防止条例違反で逮捕
ウ	被疑者	C	25歳	熊本県迷惑行為等防止条例違反で逮捕
エ	被疑者	D	28歳	熊本県迷惑行為等防止条例違反で逮捕
オ	被疑者	E	37歳	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反で逮捕
カ	被疑者	F	27歳	熊本県迷惑行為等防止条例違反で逮捕
キ	被疑者	G	40歳	熊本県迷惑行為等防止条例違反で逮捕
ク	被疑者	H	26歳	熊本県迷惑行為等防止条例違反で逮捕
ケ	被疑者	I	25歳	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反で逮捕

(3) 被迷惑者について

捜査過程において、客引きを受けた被迷惑者から聴取したところ、約6割が県内居住者で、約4割が観光客等の来県者であった。

(4) 今後の客引き対策

今回の捜査によって押収した証拠品や被疑者の供述等を精査し、組織実態の解明と突き上げ捜査を実施するとともに、今後も引き続き、客引き検挙と、見せる警戒及び排除活動を積極的に行い、更なる繁華街の環境浄化に努める。

【委員からの質問等】

委員から「多くの被疑者を逮捕されたということであるが、引き続き強化してもらいたい」旨の発言があり、警察から「暴力団との繋がりも含め刑事部と協力して取り組んでいく」旨の説明があった。

3 暴力団組長に対する殺人未遂事件の発生・検挙について

令和元年11月18日（月）に熊本市中央区において発生した殺人未遂事件につき、同日、被疑者A（無職（指定暴力団六代目山口組系組員）、55歳）及び被疑者B（無職（指定暴力団六代目山口組系組員）、54歳）を殺人未遂で通常逮捕した。

【委員からの質問等】

委員から「昨日（11/27）も神戸で事件が発生しているが、熊本にも影響があるのか」旨の発言があり、警察から「全国的な対立抗争状態であることから、全国警察で警戒や情報収集に当たっている」旨の説明があった。

4 「飲酒運転根絶広報啓発強化期間」の実施について

(1) 目的

飲酒運転根絶に係る広報啓発活動を全県的に展開し、「飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない」という規範意識を県民に浸透させることにより、飲酒運転の根絶を図るもの

(2) 実施期間
令和元年12月1日(日)から同年12月10日(火)までの10日間

(3) 推進内容

ア 広報啓発の強化

(ア) マスメディア等を活用した効果的な広報啓発活動の推進

(イ) 関係機関等との協働による飲酒運転根絶気運高揚施策の推進

(ウ) ハンドルキーパー運動の周知

イ 安全運転管理者等選任事業所等との連携強化

ウ 交通安全教育の推進

【委員からの質問等】

委員から「昨年と比較して飲酒運転は減っているのか」旨の発言があり、警察から「飲酒運転の検挙は10月末で昨年比プラス12件、うち逮捕者もプラス4人と増加している」旨の説明があった。

5 2019女子ハンドボール世界選手権大会開催に伴う諸対策について

(1) 開催概要

ア 期間

令和元年11月30日(土)から12月15日(日)までの間

イ 場所

県内5会場

※ パークドーム熊本・アクアドームくまもと・熊本県立総合体育館
山鹿市総合体育館・八代市総合体育館

ウ 出場国・試合数

24カ国96試合

エ 県の集客目標

324,000人

(2) 警備体制

ア 県警備本部

イ 本部直轄部隊

ウ 署警備部隊

(3) 交通対策

ア 警察官による警戒

各会場周辺及び選手移動経路において、パトカー等による警戒、交通整理等を実施

イ 無料バスの運行

主催者が、JR駅等交通拠点からの無料バスを運行

【委員からの質問等】

委員から「今回はラグビーの時と違って交通規制はないのか」旨の発言があり、警察から「八代市総合体育館の周囲では交通規制を行う」旨の説明があった。

さらに委員から「ラグビーより多くの国が集まるので、トラブルが増加する可能性があるが、対策はできているか」旨の発言があり、警察から「ホテルを含め管理者対策を行い、常時対応できるようにしている」旨の説明があった。

第3 審議

1 令和2年熊本県警察運営方針について

警務部から説明があり、審議が行われ、原案どおり承認された。

【委員からの質問等】

委員から「以前は1年おきに見直していたが、実現計画の期間も2年間であることから、継続性を考え運営方針も2年間で良いと思う」旨の発言があった。

2 次期活動計画（「安全・安心くまもと」実現計画2020）について

警務部から説明があり、審議が行われたが、再審議となった。

【委員からの質問等】

委員から「重点課題の「観光立県」について、より適切な用語がないか再考願いたい」旨の意見があった。

第4 報告・決裁等

1 熊本県公安委員会に係る審査基準・処分基準の改定の決裁

運転免許課長から説明があり、決裁が行われた。

2 監察業務の報告

首席監察官から報告が行われた。

3 特定秘密の指定及び保護措置並びに適性評価の実施状況の決裁

警備第一課長から説明があり、決裁が行われた。

4 「特例施設占有者の指定の取消」に係る処分基準の改正の決裁

会計課企画指導室長から説明があり、決裁が行われた。

5 公安委員の報酬に対する住民税徴収に係る説明

警務課給与係長から説明が行われた。

6 令和元年第29回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

7 令和元年第30回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。